

東日本・家族応援プロジェクト in 二本松 2012



期間:2012年1月23日(月)～1月29日(日)

会場:二本松市市民交流センター

参加費:いずれの企画も無料です。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から9ヶ月が過ぎ、被災地に暮らす人も、周辺に暮らす人も、直接的な被害の大小にかかわらず、その影響を感じることも少なくないでしょう。大きな喪失と悔いや哀しみをかかえながら、みんな、よりよい未来を模索しています。立命館大学大学院応用人間科学研究科は、開設以来「対人援助学」の看板を掲げ、10年の歴史を重ねてきました。次の10年を見通す中で、東日本の各地で対人援助のプログラムをとおして東日本大震災と向き合っていこうと考えています。家族や支援者、コミュニティに寄り添い、復興の物語を創っていく人々の声に耳を傾けながら、社会の変化の証言者・目撃者(ウイットネス、witness)として存在し続けることができたらと願っています。

2012年1月23日(月)から1月29日(日)まで、地元のNPO・ボランティアのみなさんと協力して、家族をテーマに、漫画のパネル展示と関連のワークショップ・セミナーを開催します。

どなたでもご参加いただけます。ご関心のある方は、ぜひ、お越しください。

主催：立命館大学大学院応用人間科学研究科

共催：NPO 法人子育て支援グループ ころろ

NPO 法人ビーンズふくしま

ふくしまの笑顔をつなぐボランティアグループ “ひらそる”

団士郎 家族漫画展

会期：1月23日(月)13:00~1月29日(日)12:00

会場：二本松市市民交流センター3階フリースペース



遊びのワークショップ

日時：1月28日(土)10:00~12:00、13:00~16:00

1月29日(日)10:00~12:00

会場：二本松市市民交流センター1階多目的ホール



たくさんのおもちゃを用意して待ってるよ！
親子で好きな時に遊びに来てね。
スタッフもおります。一緒に遊んで楽しい
時間を過ごしたいと思っています。

東京おもちゃ美術館(<http://goodtoy.org/ttm/>)
の協力でおもちゃと遊びスペースを設置します。
その他、世界の楽器やコマも用意しています。

コーディネーター：荒木美知子(大阪女子短期大学幼児教育学科准教授)
森 周(二本松市保健センター発達相談員)
金山好美(立命館大学心理教育相談センター・カウンセラー)

子育て支援セミナー

「就学前までの子どもの発達の姿と関わり方」

日時：1月28日(土)10:00~12:00

会場：二本松市市民交流センター 多目的ホール(定員100名)

講師：中村隆一(立命館大学大学院応用人間科学研究科教授)

*1歳のお子さんから託児があります。ご希望の方は事前予約が必要です(定員10名)

0歳から6歳までの子どもの発達についてお話しします。子どもの姿を見ていると、不思議に感じるものがたくさんあります。時には、親や周りのおとなが困ったり、イライラしてしまうことも...。おとなから見た子どもの困った姿は、実は興味深い発達の姿であることがよくあります。子どもの姿を紹介しながら、発達の意味や関わり方などについてお話しします。

保護者の方々のみならず、保健師や心理士、保育士、幼稚園教諭など、子どもに関わっておられる方々にもご参加いただければ幸いです。

「保護者のためのグループ交流会」

日時：1月28日(土)13:00~14:30

会場：二本松市市民交流センター2階創作スタジオ(定員24名)

助言者：荒木穂積・中村隆一・徳田完二(以上、立命館大学)

中鉢博之・加藤美奈子(以上、ビーンズふくしま)

*1歳のお子さんから託児があります。ご希望の方は事前予約が必要です(定員10名)。

少人数グループで、日頃の子育ての悩みなど、気軽に話せる交流会です。グループごとに助言者が入りますので相談もしていただけます。ご要望があれば、交流会後、個別相談にも応じます。

支援者支援セミナー

「支援者のためのグループ交流会」

日時：1月29日(日) 10:00~11:30

会場：二本松市市民交流センター2階創作スタジオ (定員24名)

助言者：荒木穂積・中村隆一・徳田完二(以上、立命館大学)

中鉢博之・若月ちよ(以上、ビーンズふくしま)

*1歳のお子さんから託児があります。ご希望の方は事前予約が必要です(定員10名)。

災害ボランティア、保健師、保育士、教師など、対人援助に関わる支援者の方々の交流会です。日常の活動などについて話し、意見交換ができればと企画しました。

会場：二本松市市民交流センター
〒964-0917 二本松市本町二丁目3-1
(JR二本松駅前)



主催：立命館大学大学院応用人間科学研究科

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1

(<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gsshs/index.html>)

問い合わせ先・託児申込み：NPO 法人子育て支援グループ ころこ(担当：中野)

〒964-0917 二本松市本町二丁目3-1 二本松市市民交流センター2F

TEL/FAX 0243-23-4740

作者・講師・助言者・コーディネーターのプロフィール

岡 士郎

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。公立の児童相談機関心理職 25 年を経て独立。「仕事場 D・A・N」主宰。家族療法の実践をしながら、講演やワークショップを全国で展開。漫画家としても多数作品を発表している。『不登校の解法』(文春新書)、『家族力×相談力』(文春新書)、『家族の練習問題』1～3(ホンブックス)など。

荒木穂積

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。障害児保育、発達障害児の支援などに取り組む。最近、東アジアの発達障害児国際共同研究やベトナム知的障害児の就学率向上プロジェクト(JICA 草の根技術協力)など国際協力事業にも取り組んでいる。

中村隆一

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。大津市で発達相談員として30年勤務(現在は、嘱託勤務)。乳幼児の発達研究に取り組んでいる。人間発達研究所運営委員長として発達診断セミナーの企画や普及にも取り組んでいる。

徳田完二

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授。長年にわたって児童・青年およびその保護者の相談活動に従事。現在、心理・教育相談センター長をつとめ、臨床心理士の養成に取り組んでいる。

中鉢博之

特定非営利活動法人ビーンズふくしま事務局長。福島大学卒業後「フリースクールビーンズふくしま」の設立に参画。スタッフとして不登校の子ども・ひきこもりやニートの青年の支援や相談に携わる。現在は被災して仮設住宅等で生活している子ども達への「学び」や「遊び」の支援などにも取り組んでいる。

若月ちよ

特定非営利活動法人ビーンズふくしま理事長。保育士、家族相談士。子どもの不登校をきっかけに、「フリースクールビーンズふくしま」の設立に関わり代表となる。現在は不登校の子の支援、自立を目指す若者の支援に携わるとともに、その親や家族の支援に取り組んでいる。その他にも、「子どもへの暴力防止」や「性教育」の活動にも取り組む。

加藤美奈子

「ビーンズこころの相談室」スタッフ。認定心理士。自立に向けての課題や人間関係などで悩む青少年に寄り添いながら、日々相談活動や家庭訪問などに取り組んでいる。

荒木美知子

大阪女子短期大学幼児教育学科准教授。幼稚園教諭・保育士養成に取り組んでいる。おもちゃや絵本の活動をすすめている。最近、発達障害児の親のニーズ調査研究に取り組んでいる。

森 周

二本松市で発達相談員（非常勤）として3ヶ年勤務。子どもの発達の不思議さに興味をもつ。子どもの心のわかる相談員として大きな信頼を得ている。

金山好美

立命館大学心理教育相談センター・カウンセラーとして勤務（非常勤）。同センターの発達障害児サポートプログラム（SST）の中心メンバー。奈良YMCAで、発達障害児のSST、小学校での巡回相談も行っている。